

普及活動情勢報告（令和5年5月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

さらなる集落営農組織の発展を目指して！！ ～いの町農事組合法人上東が令和5年度総会を開催～



5月18日、いの町農事組合法人上東が旧上東小学校講堂で総会を開催し、組合員16人が参加しました。
農業改良普及課は、総会に向け役員会で活動実績や次年度の計画について話し合うと共に、決算報告の支援を行いました。
参加者からは、定款の変更、直接支払制度の継続や豚熱の感染状況等について質問が出されました。
農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して農事組合法人上東の発展に向け支援していきます。

「吟の夢」の生産性向上を目指して ～いの町吾北地区で酒米の実証試験を実施～



いの町吾北地区では、酒造好適米「吟の夢」を7人が約2.7ha栽培しています。当地区の酒米は「高知県酒米品評会」において、上位入賞を多く果たしています。しかし、生産者からは「品質は良いが、もう少し収量が欲しい」との声があり、収量性が低いという課題がありました。
そこで、農業改良普及課は生産者と協議し、栽培実証ほを設置する事としました。収量UPを目標に、農業技術センターの試験成績を基に、慣行栽培より株間を狭くしたり、施肥量を変更した栽培を行います。
農業改良普及課は今後、実証ほでの調査を行い、結果を基に関係機関と連携して収量性向上を図っていきます。

しっかりとした株養成のために！ ～土佐市で施設ニラ定植前講習会を開催～



5月1日、JA高知県とさしニラ部会で、施設ニラの定植前講習会を兼ねた現地検討会を行い5人が参加しました。
農業改良普及課は、前年度に株養成が不十分となった一因である植え方の違い（浅植）や定植後の乾燥、病害虫の対策について講習しました。
生産者からは、「近年、細菌による被害が多くなっており、株の消耗や夏場の秀品率の低下の原因となっている。何か対策はないか」等質問があり、病害が出る前から予防として銅剤や微生物資材を用いた防除、鎌の洗浄等について指導しました。
農業改良普及課は今後も、土佐市のニラ生産者の栽培技術向上を目指し、個別巡回も行いながら指導を続けます。

まずはSAWACHIを使ってみませんか？ ～土佐市高岡管内で横浜植木メロン品種現地検討会を開催～



4月18日、土佐市高岡管内のメロンほ場で種苗会社の研究員を招き、生産者4人で現地検討会を行いました。農業改良普及課からは営農支援サービスSAWACHIの紹介をしました。
参加者からは、SAWACHI専用に関心センサーを導入しなければならないのかといった質問や、JAで配布される出荷実績が見られたい（メロンは自動で出荷実績があがらないため）といった要望があげられました。
農業改良普及課は今後も、JA等関係機関と連携しSAWACHIの登録および活用の推進を行っていきます。